



地方大学の (SDGs) 持続可能な開発目標へのアプローチ

地球規模の温暖化や水危機、さらには医療革命や高齢化と低出生率による深刻な少子高齢化・人口減少など、様々な問題が顕在化し、それらへの解決策について議論が行われています。国内外における取り組みに加えて、地方大学でも問題解決に向けた活動が進んでいます。

この講演会では、地球環境、少子高齢化・人口減少、地方創生、再生医療、次世代ワクチン開発といった5つのテーマに焦点を当て、地方大学の取り組みや研究成果、最新のトピックについて紹介します。参加者の皆様と、アカデミアが持つ科学的な知識と俯瞰的・多面的視座から、持続可能な社会の実現に向けた新たな知見や解決策を共有し、議論を深めたいと考えています。

開催日時 ・ 会場	令和5年 11月25日 (土) 13:30～17:15	申込方法 定員となり次第、現地参加の受付は終了します	現地参加、Zoomによるオンライン参加とも11月21日 (火) までに下記URLまたは右のQRコードより、事前申し込みをお願いします。	
	島根大学 大学ホール 島根県松江市西川津町1060		https://forms.office.com/r/9CMLRwba84	
参加無料	どなたでも参加いただけます 現地参加・会場定員 100名	申込をされた方には申込完了メールが届きます。届かない方は下記メールアドレスへご連絡願います。 rsd-chiiki(A)office.shimane-u.ac.jp ※(A)を@に変えて送信ください。		
Zoomによるオンライン配信も行います				

開会挨拶

13:30 ~ 13:45

日比谷 潤子 (日本学術会議副会長)
大谷 浩 (島根大学理事 (SDGs、研究推進担当))

講演趣旨

13:50 ~ 13:55

山本 達之 (日本学術会議連携会員、島根大学生物資源科学部 教授)

「地球環境の限界、人新世とエスチュアリー」

齋藤 文紀 (日本学術会議連携会員、島根大学エスチュアリー研究センター長、特任教授)

「人口減少時代におけるwell-beingに満ちた子ども政策の可能性」

宮本 恭子 (日本学術会議連携会員、島根大学法文学部 教授)

15:05 ~ 15:20 (休憩)

「たたら製鉄の歴史を引き継ぐ『材料エネルギー学部』新設」

三原 毅 (島根大学材料エネルギー学部長 特任教授)

「大学発ベンチャー『PuREC』の低phosphatase症に対する再生医療研究」

松崎 有未 (島根大学医学部 教授、PuREC株式会社代表取締役)

「地方から巻き込み力で次世代ワクチン開発に挑む」

浦野 健 (日本学術会議連携会員、島根大学医学部 教授、新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター副センター長)

まとめ

17:00 ~ 17:10

山内 泰子 (日本学術会議連携会員、川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科 教授)

閉会挨拶

17:10 ~ 17:15

坂田 省吾 (日本学術会議中国・四国地区会議運営委員会委員 第26期代表幹事)

お問い合わせ先

島根大学 研究・地方創生部 研究推進課
TEL : 0852-32-9728
E-Mail : rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp

※申込時にご記入いただきました個人情報、本講演会の開催の運営管理の目的にのみ利用させていただき、その他の目的には一切使用いたしません。※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催：日本学術会議中国・四国地区会議、島根大学
後援：島根県、松江市、出雲市

